

平成29年度第2回学校運営協議会報告

平成29年12月18日(月) 10:00～

I 出席者 全委員8名(教頭・事務長・担当教諭同席)

II 協議会の流れ

- 1 開会挨拶(会長・校長)
- 2 第2限授業参観
- 3 通学路、通学路周辺、笠田駅本校生徒専用出入口の視察
- 4 授業を参観しての感想・意見交換
- 5 前回出された課題や今後の連携等について
- 6 報酬・旅費等について(学校側)
- 7 閉会挨拶(副会長)

III 授業を参観しての感想・意見交換

- ・授業参観の前に校長が「学校が汚れてきている」と言っていたがそうは思わない。
- ・商業科の授業でコンピューターを使っている授業でフォトショップやイラストレータを使っており以前より専門的、実践的になっている。
- ・「和気あいあい」に近い状態で、子供たちも甘えているようでも無く、授業を工夫してくれている。親としても感心している。
- ・1クラスの人数の議論は最近どうなっているのか？何人にするかというような話を以前聞いたことがあるが最近の動向はどうか？
- ・小学校で1年生から英語の授業が入るようだが、高校は外国人の方がきての英語の授業はあるか？また、英語教員の指導方法の研修はどのように行っているか？

IV 前回出された課題や今後の連携等について

- ・駅前のごみ拾いを、同日に、小・中・高校生と一緒にできないか。地域の方々も参加していただいて、小・中・高の連携、地域の連携ができないか。
→ごみ拾いについては、それぞれの学校の始業時間が違うなど、行事的に行うことは少し無理がある。また、高校はクラブの生徒が自主的に自分のためと思ってやっていることなので、無理やり連携にもっていく必要もない。
- ・通学路の安全について、学校と地域が連携した生徒の見守り。
→高校が学期ごとに行ってきた生徒市民委員、PTA、教員による交通街頭指導を、毎月1日と15日に地域の方が行ってくれている見守り活動に合わせて、行うこととする。

- かつらぎ町内の小・中学校で研究授業、研究協議を実施している。小・中・高で交流はできないか。

→第1回学校運営協議会の意見を受けて、笠田小学校、笠田中学校の公開授業を高校教員が参観。参観した教員の感想として、「小学校の先生の丁寧な教え方が、非常に参考になった。」「中学校の授業では生徒が生き生きと活動しており、グループワークもレベルが高かった。」等が学校から報告された。また、1月に笠田小学校で実施予定のかつらぎ町教育委員会主催の授業研修会について、会長が事前にかつらぎ町の教育長に承諾を得てくれたため、高校教員も参加できることとなった。さらに、来年度は高校の授業を小・中学校の教員に参観していただく予定となった。

- 学校の広報・アピールの工夫。

→広報は学校の大きな課題である。例えば、A4のクリアファイルにマンスリータイムズを入れて、病院や医院、公民館等に配布するなどしてはどうか。

- 将来に向けての課題。

→校長から学校近くのJR線路を横切る「里道」について、警報器と遮断機のついた踏切に昇格させ、生徒が通学路として利用できるよう地域の方々の力が是非必要である旨の要請。